



なみ き

埼玉県議会議員

並木 まさとし

無所属
県民会議
SAITAMA



発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



酒類販売事業者支援の知事要望



県内 15 市町には「まん延防止等重点措置」として、特措法 31 条に基づいて飲食店の短縮営業と酒類の提供自粛が求められています。また、対象地域外でも同法 24 条に基づく時短営業で単独客や家族に限定した酒類提供をおこなっており、酒類販売事業者や卸事業者にとっては経営に大きな打撃となっています。

幾度にも及ぶ緊急事態宣言と外出自粛によって多くの方が居酒屋ではなく「家飲み」がスタンダードな生活習慣になりつつあり、スーパーやコンビニの業績が好調であるように家飲みする方の購入先としての影響が反映されていると思います。

国は緊急事態宣言対象地域やまん延防止措置対象地域を対象にした月次支援金(中・小企業は月 20 万円・個人事業主は 10 万円)が新たに創設されますが、この制度は対象地域に限定した支援金であり、例えば対象地域外から対象地域に販売・卸をしている事業者は支給の対象外となってしまいます。

そこで、私たち無所属県民会議の会派では早急に県独自に対象外の事業者を追加支援するべく知事に要望いたしました。



2016年 埼玉県事業所数 (産業大分類別)

- ①オレンジ 卸・小売業 56,851 事業所
- ②赤 宿泊・サービス業 27,883 事業所
- ③水色 製造業 26,691 事業所
- ④緑 建設業 25,762 事業所
- ⑤黄緑 生活関連サービス 22,637 事業所
- ⑥薄緑 医療・福祉 20,058 事業所

商工会の通常総代会に思う ～昨年9月の一般質問で取り上げた事業者支援・後継者の育成と事業承継～

全国すべての事業所・企業には 5 年に1度、産業構造や実態調査のため統計法に基づいた経済センサスが実施され、前回の県内の産業大分類別事業所数では最も多い事業所が卸・小売りの約 5.6 万事業所、続いて宿泊・飲食サービスが約 2.7 万、製造業が約 2.6 万、建設業が約 2.5 万で、本県の 6 割弱を占めています。

前々回の調査と比較すると事業所総数が 4.1%減少しましたが、今回の調査では新型コロナの影響でこの割合がさらに多くなると思います。

事業所の現状は経営者の平均年齢が 60 歳、後継者不在率が 68%など、事業の継続が危機的な状況です。先日、出席した商工会通常総代会では理事が 5 人減、総代が 38 人減など役員定数の改正は毎年おこなわれています。新体制になった商工会では地域の事業者に対するセーフティネットを強く張っていただき、企業の優れた技術やノウハウを活かした事業承継ネットワーク・後継者人材バンクに取り組んでいただきたいと感じます。

埼玉県高齢者ワクチン接種センターについて①

本日13時 6/1～6/15の予約受付開始 6/16～6/30接種分は6/9受付開始

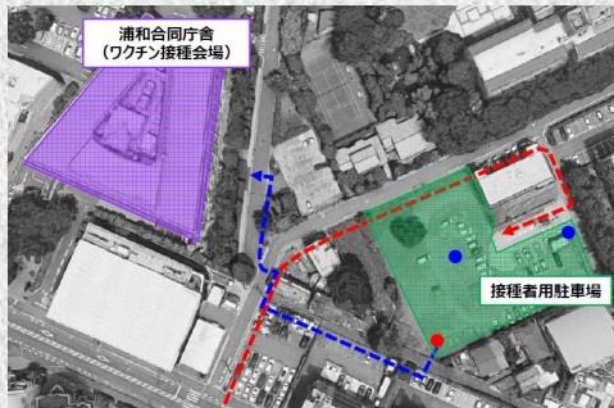
NEW! シャトルバスについて

**北浦和駅から会場まで
無料シャトルバスを運行します！**



- 発着場は北浦和駅西口1番乗り場
(埼玉りそな銀行前 国際興業バス)
- 15分間隔で運行予定

NEW! 駐車場について



旧「さいたま市営北浦和臨時駐車場」
※会場まで徒歩1分程度
※台数に限りがあります

333疾病 難病指定患者への先行接種はどうか

鴻巣市のワクチン接種については75歳以上の方を対象に5月17日(月)から予約センターへの電話とインターネットによる予約を開始しています。

1回目の接種が済んだ方の2回目の接種は3週間後の同じ曜日、同じ時間、同じ医療機関となります。

5月25日の時点では予約受付ハガキ発送数の約18,000人に対して13,213人が接種予約しており、73%の方が接種を希望し、予約できていることから大きな混乱はないと思われます。

県では7月中に接種が間に合わない自治体向けに北浦和合同庁舎に接種センターを開設しましたが、1日の予定数700名が果たしてどのような結果になるのか疑問に感じます。また、現在は高齢者の先行接種をしていますが、65歳以下の接種がいつ頃になるのか気になります。

また、ほとんどの自治体は現在、高齢者や施設入居者の先行接種をしていますが、高齢者にかかわらず指定難病(333疾病)の方は高齢者の先行接種から漏れてしまっており、命のリスクを伴う危険性があります。

そこで、高齢者にかかわらず接種希望者には難病指定医の判断のもと、自治体もしくは県が設置した接種センターで早期に接種することも必要なのではと感じます。

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が指定する疾病を「指定難病」といいます。パーキンソン病や筋ジストロフィー症など指定難病は、治療が極めて困難であり、その医療費も高額に及ぶため、患者さんの医療費の負担軽減を目的として一定の認定基準を満たしているかたに指定難病に係る医療費の一部を助成しています。



プロフィール

昭和45年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(24年目)/鴻巣市議会議員2期/埼玉県議会議員2期目/総務県民生活委員/経済・雇用対策特別委員/家族:妻・長女・長男・愛犬レオ